

地区だより

…………… 令和6年2月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 18,807人 女 20,283人
計 39,090人
世帯数：20,845世帯
(1月1日現在)



市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎525-3710 ☎536-9828

「冬の自由研究」を開催しました

令和5年12月17日にこむこむ館で、体験型の実験ワークショップ「冬の自由研究」を、中央東地区ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会および市の主催により開催しました。

こくりナビに登録する大学生14人が地域の課題を研究し、その課題解決のために自分たちの強みを生かした事業の企画・検討を重ねてきました。当日は、つかめる水の実験や野菜スタンプでオリジナルバッグ作りなどを実施し、多くの子どもたちが楽しんでいました。

▼こくりナビについて



■問/地域共創課 ☎525-3731



▲こくりナビからの参加者



▲当日の実験風景

*1:こくりナビ

(若者のまちづくり参加促進事業)
・スタートアップコース：若者が市(行政)や地域の事業へボランティアで参加[172名登録]
・ステップアップコース：若者が自ら企画・検討し事業を実施[10名登録]

▼LOOK LUCK
チャンネルで
活動記録配信中



「つながるマルシェ MIKAWADAI」を開催します

地元企業や事業所、地域で活躍する皆さんが手を取り合い、一緒にまちづくりを推進するための「つながる」きっかけとなってほしいとの思いで開催を決定!

お子さんから大人の方まで楽しめる企画や出展を予定しています。多くの皆さまのお越しをお待ちしています。

■問/地域共創課 ☎525-3731

日時：3月9日(土) 午前10時～午後3時【事前申し込み不要】

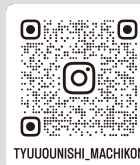
会場：三河台学習センター 館内(雨天決行)

※駐車場に限りがあるため、公共交通機関をご利用ください。

内容：フード&ドリンク、出展団体事業の展示・紹介、物販、ワークショップなど

主催：中央西地区ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会
三河台学習センター

※詳しくは各施設から配布されるチラシやInstagramをご覧ください。



Instagram

令和6年度個人市・県民税申告相談受け付けのご案内

■日時/3月5・6日 午前9時30分～午後3時 ※終了時刻の30分前までの来場にご協力ください。

■場所/アオウゼ(曾根田町1-18) 多目的ホール

※市内各地区の会場で申告ができます。詳しくは「市政だより2月号」または市ホームページをご覧ください。

■問/市民税課 ☎525-3792、525-3712

所得税の確定申告書作成会場は「アオウゼ 大会議室」です。会場への入場には「入場整理券」が必要です。


■問/福島税務署 ☎534-3121

中央学習センターからのお知らせ


【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ☎533-7592

受講生募集

ICT活用セミナー スマートフォン集中講座 「初心者向けアプリ講座」

- 日時 3月4日(月) 午後2時～4時(終了予定)
- 場所 中央学習センター ホール
- 内容 スマホのアプリの種類や取り方・使い方・注意点やLINE(ライン)の使い方
※持っているスマホを使用します
- 講師 ドコモショップ福島北店より
- 対象者 中央地区在勤・在住の一般成人の方  【申込QRコード】
- 定員 12名(先着順) ●参加費 無料
※各自持参するスマホ使用による通信料は、自己負担となります。
- 準備物 持っているスマートフォン(らくらくフォン・iPhone・その他のスマホ)・筆記用具等
※スマホは十分に充電し、持参ください。
- 申込み 2月7日(水)から25日(日)までの間に、掲載のQRコードよりオンライン、または中央学習センター窓口で申し込みください。電話での申し込みは、2月8日(木)より受け付けます。
※窓口・電話受付時間：午前9時～午後5時45分(休館日(火曜日・祝日・振替休日)を除く)

ふるさと学びカレッジ 「福島市の温泉地を学ぼう！」

- 日時 ①2月25日(日) ②3月3日(日)
※全2回の連続講座となります。
両日ともに午後2時～3時30分(予定)
- 場所 ①中央学習センター 第1講義室
②飯坂温泉(詳細はお申込み後にご案内します)
- 内容 ①【福島市の温泉地の楽しみ方】
福島市の温泉地の泉質や特徴を学びます！
各温泉地のおすすめスポット情報も！
②【温泉地ピックアップ～飯坂温泉まち歩き～】
見所や歴史についての解説付きまち歩きです！
- 講師 ①DMO福島市観光コンベンション協会
横山 佳代 先生(温泉ソムリエ有資格者)
②飯坂温泉観光協会
- 対象者 中央地区在住・在勤の方(主に50代～70代の方)
- 定員 15名(先着順) ●参加費 無料
- 準備物 筆記用具等
- 申込み 2月5日(月)から2月19日(月)までの間に、掲載のQRコードよりオンライン、または中央学習センター窓口で申し込みください。電話での申し込みは、2月7日(水)より受け付けます。
※窓口・電話受付時間：午前9時～午後5時45分(休館日(火曜日・祝日・振替休日)を除く)  【申込QRコード】

学びの轍 ～つどい・まなび・むすび・いかす、中央学習センターを未来へ～

地域のウェルビーイングを目指す公民館「しゃくなげ青年講座の取り組み」

昭和30年。福島四中に特殊学級(現：特別支援学級)が開設された。初年度は1学級だったが中1から中3までの男女18名。学校は施設と違って嫌でも卒業の時期が来る。昭和31年は4名の卒業生、一応、就職させることはできたが、社会自立とは程遠いものであった。そうこうしているうちに卒業生が30名を越してしまい、中には離職するもの、非行に走るものもいて、この対応に意を用いなければならなくなった。(略)当時、「青年学級振興法」が施行されていたが、その目的などを検討の結果、昭和40年には福島養護学校(現：ふくしま支援学校)も開設されたので、公民館に依頼し、養護学校、太陽学園と3者で自主的に「しゃくなげ青年講座」として運営することとなった。私が知る限りではこの時代に、自主的運営とは言うものの、知的障害者のためこのような講座があったのは全国的にも稀少であったように思う。(略)

福島の知的障害者にとっては、このしゃくなげ青年講座が、唯一の社交の場になっているのだと思う。

—「しゃくなげ青年講座50年のあゆみ(中丸良彦さん：元福島養護学校校長)特別寄稿」より一部抜粋

しゃくなげ青年講座とは

特別支援学校や特別支援学級等の卒業生を対象に余暇の有効活用のもと、豊かな生活体験や交流するための機会を提供するため1969年(昭和44年)に講座の開講式が行われて以来、50年以上の長きにわたり実施。

参加者同士、ボランティア等との交流を図りながら、生活教養、レクリエーション、造形活動、まちの施設利用といった様々な活動を月1回実施している。



新館トピックス

- ・(仮称)市民センターは、令和5年11月現在、2階床工事を進めております。
- ・令和6年中に建物が完成予定です。



学習センターの窓口時間は、火曜日・祝日を除く午前9時から午後5時45分までです。